

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームアイケアおたる1階	評価実施年月日	平成21年12月20日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年1月7日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	目配り、気配り、心配りの中に地域に愛され「共に歩む」を理念にサービスの提供に努めています。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ボードに掲示し、毎朝申し送り後、勤務者で復唱を行い理念を意識して支援、介護に取り組んで活けるように努めています。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族様には入居契約時に説明を行っています、また運営推進会議の参加で来所された方には、玄関に設置してあるホームのパンフレットをお渡しして理念の説明を行っています。		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内の行事やホームで開催される運営推進会議を期に近隣の方とも気軽にお話ができる様になっています。	○	昔から住んでいる町内の方とは気軽にお話ができるがマンション等に住んでいる方とは交流が無く、今後は交流出来る様運営推進会議の場でも町内の方々にも協力して頂けるよう働きかけて行きたいと思えます。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会のお祭りや月二回の資源回収、川の清掃、ゴミ拾い、草むしり等に参加を継続して行いよい関係作りに努めて行きたいと思えます。		
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	若松町内は独居の高齢者の方が多い事もあり、ホームで開催される行事に参加して頂けるよう回覧を回して参加を呼びかけています。	○	来所される方が多数なのでこのまま継続し、回覧に認知症についてのミニ智識等をホームから発信して行けたらと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全体に自己評価、外部評価の意義を伝え理解と実施を継続する事や、前回の評価内容を職員全体で話し合い取り組むよう努めています。</p>	○	<p>日々のケアの中で実践に活かす事の出来る様、職員との話し合いの場で繰り返し浸透させて行きたいと思います。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>現在取り組んでいる内容について報告しご意見、要望を頂き、その意見、要望を具体的に職員全体で話し合い質の向上に努めています。</p>	○	<p>今後も参加されていないご家族様や地域の方々にも参加して頂けるよう回覧等でのお知らせや、今現在参加されている地域の方にも協力して頂けるよう努め、沢山の方に参加して頂きご意見を頂けるよう、また笑い、質の向上に努めて行きたいと思います。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>地域包括センター、介護保険課、生活支援課を訪ね入居者様とご家族様の相談をさせて頂いています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>前回参加した時の研修資料や新聞記事を下に職員全員が理解出来る様にしていますが、具体的に活用してよいのか知識が薄く、職員全員には浸透していません。</p>	○	<p>研修会に参加して職員全員で理解を深めて行きたいと思います。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>管理者がアイケアグループ内の勉強会に参加し、その時に話し合われた事例検討等をホームへ落とし勉強会を行っています。また職員自身にストレスが生じないように管理者と職員で話し合いをする機会を設けています。</p>	○	<p>今後は、他の研修会に職員が参加出来る様な体制作りをし理解を深めて行きたいと思っています。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約前に入居担当者、管理者より説明を行い質問や疑問がある時は気軽に何度でもお話できる様配慮しています。入居契約時には契約書、重要事項の説明を入居様、ご家族様に説明をして理解して納得されたのち署名と捺印を頂いております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場でもご本人様の意見、不満、苦情を言って頂ける場にして運営に反映して行ける様心掛けています。日々のケアの中でご意見、不満、苦情等を入居者様の言動より思いを察するよう努め、都度お話を伺い、職員と話し合いの後、反映出来る様努めています。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	介護日誌を通し日々の生活の様子を毎日記録し、金銭管理ではお小遣いの収支を二重でチェックし領収書と一緒に毎月送付しています。金銭管理では突発的な事は事前にご家族に連絡し対応しています。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様が管理者及び職員に気軽にお話をして頂けるような雰囲気作りを心がけています、ホーム玄関には苦情箱を設置し随時記入出来る様になっています。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は職員の意見に耳を傾け、職員の声を会社に伝えられる様になっています。会社の方針については職員に随時説明を行い、会社上層部と個人面談を行う機会も設けています。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者様の状態や職員の状況に応じて勤務時間の変更や勤務体制の見直しを行っています。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者様とご家族様との信頼関係を築くつ為にも、馴染みのある職員が対応する事が重要と考えています、動きやすい職場作りを心掛け、離職を抑えられるよう努めています。	○	職員との話し合いの機会を設けるよう努めて行きたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ホーム内での虐待の防止の研修の開催や、アイケアグループでの管理者会議で行う研修会を下にフロアー会議で再度話し合う場を設けています。	○	職員全員が内部の研修のみならず、外部の研修にも参加出来る様勤務体制に配慮して行きたいと思います。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	小樽市内で行われるグループホーム協議会主催の研修会に参加し短時間ではあるが他のホームの職員と意見交換を行っています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	毎月希望の休みを聞き取り希望日に休みを取っていただきストレスが掛からないよう配慮しています、又休憩時間の確保がには入居者様から少し離れた部屋で確りと休憩出来る様配慮しています。	○	個別に相談を受けられるような体制作りを心掛けて行きたいです。
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	日々の勤務に対する努力を評価し管理者から会社に報告しています。	○	今後は職員の資格取得に向けた支援を行って行ける様な対応を考えて行きたいと思っています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に入本人様とご家族様との面談の際に不安に思っていることや困っていること等を伺い、安心して入居いただける様にしています。入居後も尊厳を重視しその方らしく過ごしていただける様関わっています。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居の相談があった際に入居担当者より十分お話を聞く機会を設けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時、入居担当者と管理者が内容を聞き他のグループホームや他のサービスが可能であれば調べて紹介をしたりその方のニーズにあった所を進めています。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前、入居者様とご家族様にお話を聞き出来るだけご自宅にいた頃のように支援と援助を行っています。またご家族様の話の伺いしサービス内容として取り入れています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	支援される側、支援する側という意識を持たずに日々共に生活をしている関係となり共同生活を喜びとして実感出来る様努めています。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の日々の様子を介護日誌と一緒にお手紙を送付したり、面会時には往診時のお話を報告し些細な事でも報告してホームとご家族の関係が徐々にですが築いています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	今まで一緒に生活されずホーム入居となられた方が多く、現状のことが理解されていないご家族が多いため面会時には管理者や職員が状況の報告を行っています。また細かいことは介護日誌やお手紙で、電話にて報告させて頂いています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	受診の帰りや行事で入居者様の馴染みのあるお店での食事や買い物をする機会を設けています、外出に応じていただけない入居者様についてはご家族様より好きだったもの等をお聞きしお茶の時間に食べて頂ける様にしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	職員が入居者様と一緒に行動する事で日々の役割を持ちお互いが協力し支えあえる環境となっています。	○	職員が入居者様の情報の共有をし把握出来る様今後も取り組んで行きたいです。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去されたご家族様がホームを訪れ状況をお話をしてくださる事が有りますが。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でご本人、ご家族の意向、今後の生活に対しての希望や思いに耳を傾け、希望に沿えるよう努めています。又身体的な面では医師、ご家族、管理者とで相談し対応しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族様からお話を聞き情報の把握に努めています。入居後も利用されていたサービス業者様、現在も通院されている病院よりお話を聞かせていただくこともあります。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の表情や言葉、毎日の体温、血圧、脈拍を通し健康状態を把握し状態の変化に対応出来る様つとめています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	カンファレンス、支援経過記録、記録、申し送り又はご本人との会話、行動等、家族面会時の会話の中よりアイデアや意見を取り入れ作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画書の見直しは通常3ヶ月に1回行っていますが、入院になるような体調の変化、著しい体調の変化などの時は医師に相談し随時見直しを行っています。またその都度職員と会議を行い話し合いの場を持っています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日介護日誌、支援経過記録、サービス内容の実施記録を記入し職員間で情報共有出来る様努めて日々の関わりやプランの見直しに役立てています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	観光地なので近隣に市場や散歩の出来る所があります、入居者様の要望があれば新鮮なその時々旬の物を一緒に買い物に行き、散歩の帰りや受診の帰りに食事をして来たり、入居者様に合わせて個別のケアも行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域のお花屋さんが月に1回入居者様の好きなお花を持ってきてくれ花の説明をしながら生けてくれます。生けた後はホーム玄関に飾り日々楽しませて頂いています。年2回避難訓練を実施して参加されたご家族の皆さんにも参加して頂き、自宅での火災についての説明も行って頂いています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご本人、ご家族の意向の下、機能の低下を防ぐため医師の指示により訪問リハビリが入っています。必要に応じて介護計画書に組み入れて行っています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在は調整不可能との事で参加されていませんが、音楽療法、ボランティアの参加、運営推進会議、催し等に参加して頂ける様、今後も働き掛けて行きたいと思えます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	昔からのかかりつけ医にホームに入居してもご家族様やホームが対応し継続してかかって頂くことが出来ています。又月2回内科、整形外科が往診に来ていただいているので状態の変化などがあれば随時相談と指示がいただける様になっています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	状態の変化があった時は往診医、かかりつけ医に連絡し相談をして助言を頂いています。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師は在中していませんが、点滴が必要なときは医師の指示により看護師が来所していつでも行っていただけるようになっています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時は病院関係者、ご家族との連絡を密接に行い、退院に向けご本人の不安にならないように支援し、退院後のホームでの対応も相談し指示やアドバイスも頂いています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居契約の際、現時点に於いてホームが対応出来る事の説明を行い状態の変化があった時にはご家族様と一緒に医師のお話を聞き治療法、ホームで行う出来るケアについての説明をし納得して頂いています。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化、終末期ケアについては、重い入居者様がいらっしゃるので少しずつ関わっている状況です、往診医への日々の状態の変化や状況を報告し指示を頂きご家族には都度報告しホームで出来るケアを医師よりご家族、管理者でお話を聞き対応しています。	○	その人らしい終末期、日々を考え対応しています、寝る事、食べる事、清潔にして沢山の会話を職員からし、日々を大切にしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の施設への住み替えお希望されるご家族様がいらした際は、移り住む環境等と一緒に見に行きご家族の不安を思い問題点を共に考え納得された上で申し込みを行って頂いています、手続きの際不明な点は役所に行き確認し可能な限りの協力を行っています。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者様の尊厳を重視した声掛けに努め、プライバシーに配慮し記録などの管理にも十分配慮して取り扱っています。</p>	○	<p>個人のファイルは外来者の目にはふれないよう鍵のかかるロッカーに収められており、必要巻くった情報等についてはシュレッターにかけるようになっています。</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>普段の会話の中からご本人の思いを察し、希望に近づけられるよう努めています。心地よい時間を過ごして頂けるよう会話の時間が多くもてる様心掛けています。</p>	○	<p>今後も理念である目配り・気配り・心配りで皆さんが希望を表現できるよう努めてきます。</p>
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日々の暮らしの中で、その日どの様に過ごしたいのかを察し、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応しています。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>近隣には馴染みの美容室があり希望される方は職員と一緒に美容室に行きパーマを掛けたりその方なりのおしゃれを楽しんでもらっています。衣料品も職員と買い物に行きご本人の好む服を購入出来る様対応しています。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事の準備や下ごしらえ、味見をして頂きながら料理を作るときの知恵を借りています。夏には畑で収穫された野菜が食卓に並び不揃いな野菜を見て笑いが耐えない食事の時間となることもあります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	入居様が時々食べたいもの、飲みたいもの、毎日ではありませんがその都度聞きてべて頂いています、お誕生日などは事前にご本人の好む物を提供し喜んで頂いています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を活用したり、見守りの中で、表情や行動の中から気持ちの良い排泄が出来る様対応しています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者様の希望に応じて入浴出来る様心掛けています、またその時の気分や体調に合わせて足浴や清拭で対応することもあります。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間は1時間おきの安否の確認を行っています、掛布団が落ちていたり、掛かっていなかったりと様々ですが、安心して眠れるよう対応しています。また眠れないような時は、職員とお話をしながら温かい飲み物を飲んだりしていただいています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ご本人の状況を見てドライブ、散歩、外食のホーム以外の場所での気分転換をして楽しみを持って頂いております。また入居者様の生活リズムに合わせて体操の実施や音楽鑑賞、新聞を読まれたり、台所仕事にメリハリのある生活をして頂けるよう日々取り組んでいます。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個別の外出時にはお小遣いを持って頂きご自身で支払いが出来る様な機会を設けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居者さまそれぞれに沿った外出を心掛けています。また、散歩であったり、行きたいところでの買い物等。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	町内のお祭りや、地域で開催されたホテルでのクリスマスパーティーでは、ご家族も参加されたり、本社より応援を頼み可能な限りの入居者様が楽しんで頂けるよう対応しコーヒーとケーキでしたが皆さんに楽しんで頂くことが出来ました。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様より電話の希望があればいつでも支援しております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族や知人、友人が来所された際は、居室でゆっくりとお話出来る様配慮しています。また来所者がいらっしゃらない方については職員がお話を聞いたり管理者と話す機会を設けています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	管理者は本社の管理者会議で勉強会を開催して、職員にはフロア会議で説明し、また身体拘束廃止マニュアルに基づき、正しく理解するよう努めています。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関については日中は鍵は掛けず、夜間防犯上掛けています。居室は夜間はご本人の希望で掛けている方がおりますが、通常は掛けていない方がほとんどです。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中は声掛けや目配りをしながら一人ひとりの状況をはあくしています。夜間は1時間おきに安否の確認や寝ている状況や変化の確認を行っています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険な、液体類、刃物は入居者様の目に触れるところに置かないよう配慮しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故発生時は管理者に連絡と同時に事故報告書を作成し事故原因の特定と予防、今後の対応策を話し合いご家族に説明と、報告を行っています。又、アクシデント会議を開催し防止に努めています。	○	ヒヤリハットを活用し事故を未然に防ぐことが出来る様取り組んでいきたいと思っています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急時はマニュアルを作成して職員全員が周知出来ています。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防協力の下避難訓練を年2回実施しています、また運営推進会議の場で、何かあった時は町内会の方がたや民生委員の方に協力をお願いしています。	○	今後は町内の方がたに、火災や災害時にどのような事してほしいのか等、もう少し具体的な内容の提案をしていきたいと思っています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族には日々の記録と共に、個別に危険についてと今後の対応について説明を行い、フロア会議の場にて十分話し合い必要であれば介護計画書の見直しを行いサービスに組み込んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日顔色や表情、体調の変化を注意深く見守っています。毎日の申し送りと、連絡帳で情報の共有を行っています。また毎日体温、血圧、脈拍も測定しています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は一人ひとりが使用している薬の説明書を読み、目的、用法、用量、副作用、を理解しています、受診時は受診記録を作成し、受診内容、処方内容を職員全員が共有出来ています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	処方された薬の他に、水分補給、乳製品、繊維質の多い食品を工夫し提供しています。身体も動かして頂けるよう、体操を行ったりし予防に取り組んでおります。	○	入居者様によっては排便の確認が取れない方もおりますが、トイレを使用後は本人への確認を行うなど把握していくようにしています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食事の後は必ず声を掛けを行い汚れや残っている物は無いかなど状態を見せて頂いています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	三食、食事量のチェックを行っています、また水分量は医師の指示が出ている方も居るので一人ひとりの状態で一日のトータル量がチェック出来る体制になっています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	職員は出勤時必ず手洗いうがいを徹底し、入居者様も外出後は必ず手洗いうがいをして頂いています、また外来者にも玄関に消毒薬を設置して使用して頂けるよう働きかけをおこなっています。介助の後や調理の前には消毒を行っています、共有の部分では手洗いは後はタオルを使用せず、ペーパータオルで対応しています。調理器具や布巾は毎回消毒を行い防止に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>台所、調理器具、は洗浄、消毒を行っています。食材は地域の市場(野菜、魚、肉)から新鮮な物を提供していただいています。消費期限には特に注意をしています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関入り口付近には手作りの看板をたて入りやすい環境に努めています。また入居者様が外の空気を吸いに出た際は、ちょっと腰掛けて休むベンチも置いています。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者様に不快な音や光、臭い等無い様に配慮しています。生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごして頂けるよう工夫をしています。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関やベランダにベンチを置きひとりになれる空間があります。また仲の良い入居者様同士が過せるようソファやテーブルの位置を工夫しています。</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者様一人ひとりが心地よく、また安心して暮らして頂けるよう、ご家族の方と相談して居室に馴染みの物を置いて頂いたりしています。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>居室には温湿度計が設置されており小まめに窓を開け空気の入替えを行っています。リビングも温度を見ながら点火、消化を行っています、リビングには加湿器を設置して、居室には濡れたタオルを掛け乾燥を防止しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー、手すり、エレベーターで個人の持っている力が最大限に発揮出来る様に取り組んでいます。また個人個人が歩行練習が見守りの中行って頂けています。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室にはご家族の写真や本人の好きな物を飾ってもらい、混乱や失敗をまねかない様その方に応じて工夫しています。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ベランダにはベンチや植木鉢を置き、その横には畑があり入居者さんと一緒に野菜を栽培し収穫時期にはホーム全体で食べ、楽しんでいます。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>① ほぼ毎日のように ○② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>① 大いに増えている ○② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>① ほぼ全ての職員が ○② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての利用者が ○② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての家族等が ○② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
 元気に入られて来た方も年々重度化されていく中で、ご家族もぎりぎりまでここでの生活を希望される方も多く、可能な限りここでの生活が継続できるよう医師、看護師、介護支援専門員、ホームが連携を取りながら取り組んでいます。